

新型コロナウイルス感染症「基本的感染対策の徹底」を！

福島県の「感染拡大防止重点措置」が5月15日まで延長されています

福島県内で確認されている新型コロナウイルスの新規感染者数が依然として高い水準にあり、オミクロン株の派生型「BA・2」への置き換わりが急速に進んでいることから、県は感染状況が「第7波にある」という見方を発表し、危機感をもって感染拡大防止に努めることを、県民に呼びかけています。

飯舘村でも、7例目の感染者が確認されるなど(4月20日現在)、気を緩めることのできない状況が続いています。

県内の「感染拡大防止重点対策」の期間も、5月15日まで延長されました。今一度、「マスク」「手洗い」「うがい」「人混みを避ける」など、基本的な感染対策を見直し、徹底していきましょう。

福島県からは以下のような呼びかけも行われています。  
家庭や職場での行動をチェックし、県内の感染拡大防止に力を合わせましょう。

気温の上昇に伴い、人々の活動が活発になることで感染リスクが高まります。  
改めて感染防止対策の確認をお願いします。

- 外出先の感染情報は自治体の情報を確認！
- 目的地だけでなく往復の行程も気を緩めずに！  
移動先での感染リスクの高い行動は控える！
- 会食の際は、感染防止対策を徹底！
- 発熱やのどの痛みなど症状がある場合や、濃厚接触者となった場合は、  
外出・出勤しない！
- 症状が疑われる方が、休みやすい雰囲気づくりを！

新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）について

村内または避難先で、2回目接種完了から6か月を経過した方を対象に、追加接種（3回目接種）を進めています。（村内居住者は、福島市との協定により福島市内での接種も可能です）

- 村内での追加接種について  
接種方法：集団接種      接種場所：いちばん館  
※接種日時は村が指定し、村内接種希望者に通知します。
- 避難先での追加接種については、各市町村の指示による方法で接種を受けてください。  
2回目接種完了から6か月を経過している方で接種券等が届いていない方は健康係まで連絡をお願いします。

問 健康福祉課健康係（いちばん館内） ☎0244-42-1637

ふくしま田園中枢都市圏

9市町村が連携して地域の魅力を高めていきます

■ふくしま田園中枢都市圏とは

本村を含む9市町村（他に福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村）が連携する「ふくしま田園中枢都市圏」が誕生しました。国の「連携中枢都市圏構想」に基づき、互いの都市機能や特長を生かし合うことで、地域の魅力を高めていきます。



■ふくしま田園中枢都市圏ビジョン

- 圏域が目指す概ね20年先の将来像  
ポストコロナ時代に 多様なライフスタイルを実現できる 南東北の要
  - 3つの方向性  
圏域全体の経済成長と復興創生をけん引する  
圏域全体へ経済効果等を波及させる高次の都市機能を集積・強化する  
暮らしやすい 住みたくなる 魅力あふれる圏域をつくる
- ビジョンはこれらの目標と、その実現を目指す具体的な取り組みをまとめたものです。

3月30日、福島市で、「ふくしま田園中枢都市圏連携協約締結式」が行われました。式では、連携する9市町村の首長が連携協約の締結に臨み、今後5年間の取り組みと目標を記した同都市圏ビジョンを公表しました。

連携する9市町村は、広域連携が効果をもたらし施策、地方暮らしに目を向ける方々をひきつける施策などを積極的に進め、人口減少の抑止、圏域全体の経済成長、ひいては持続可能な地方都市圏の形成を目指していきます。

連携協約  
締結式



締結式を終え、市町村長と来賓が横断幕で都市圏の目指す姿を掲げました。右から2人目が杉岡村長